Summer
Vol.36

KOTORIDAYORI

江東リハビリテーション病院

こうとうりは便り

KOTO REHA NEWSLETTER

CONTENTS

新人歓迎会
病棟レクリエーション
防災訓練
リハビリ機器【IVES Pro】導入
医療安全研修会
感染研修会
地域向け健康教室
『無理なく続ける腰痛予防』
院内向け健康教室
『お口の中から健康を目指そう‼』
令和7年度実績DATA
行事食



撮影場所：亀老山展望台　　撮影者：医療連携室 市村

新人歓迎会

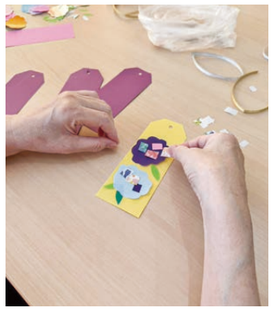




2026年6月3日（水）に亀戸のアンフェリシオンにて新人歓迎会を行いました。
数日前に発生した台風の影響で当日はまさかの嵐の予報…開催が危ぶまれましたが、新人の皆さんの熱気に押されたのか、台風も進路変更。何とか上陸は免れ、歓迎会を無事開催することができました。
開始直後こそ皆さん緊張した様子でしたが、積極的に医局の先生方や先輩職員達と交流する姿が見られ、次第に会場は和気藹々とした雰囲気に包まれました。
新人の皆さんにとって、今後の業務や職場での繋がりを深める有意義な機会となったことと思います。
今後も職員一同力を合わせ、より良い医療の提供に努めてまいります。

医事課　平林

病棟レクリエーション







先日、離床活動の一環として「あじさいのしおり作り」を行いました。当院では季節感を感じられるよう、季節に合わせた作業活動やレクリエーションを定期的に実施しています。梅雨といえば“あじさい”ということで完成した作品は1つ1つ個性が溢れていて、とても素敵なしおりが沢山できました。

リハビリテーション科　作業療法士　上野

防災訓練



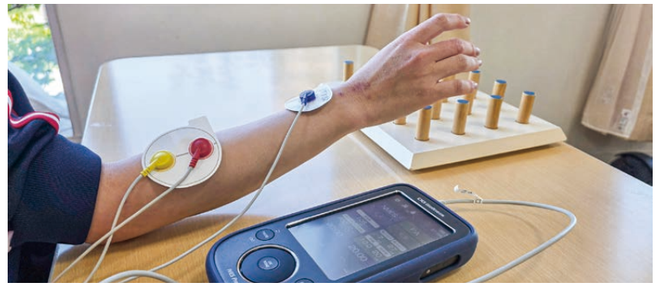


2026年6月23日（火）、院内にて防災訓練を実施しました。
今回は起震車を用いた地震体験と、専門業者による院内防災設備の講習を行いました。昨今、全国的に地震が頻発している背景もあり、職員の防災に対する意識は高く、多くのスタッフが訓練に参加いたしました。
日常的に勤務している院内であっても、防災設備の設置場所や仕様について改めて確認・再発見する場面が多く見られ、非常に実りのある内容となりました。
今後は参加者のみならず、全職員が防災設備を正しく理解し適切に対応できるよう、継続的な訓練および周知徹底に努めてまいります。

総務課　大野

リハビリ機器【IVES Pro】導入

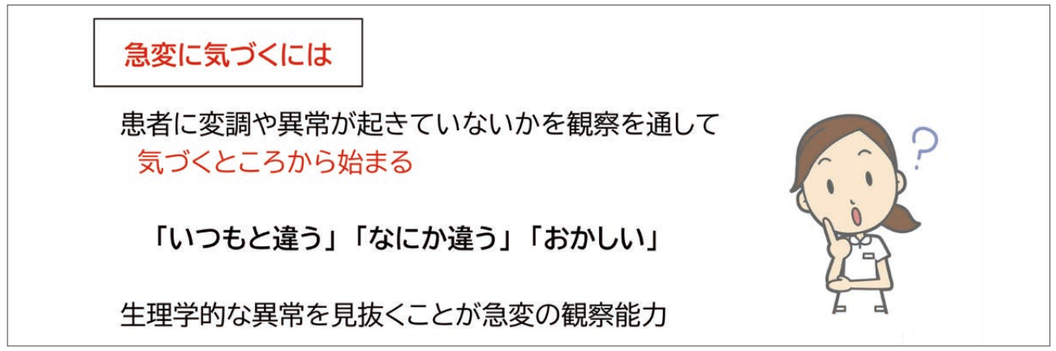




この度当院では、新しいリハビリ機器【IVES Pro】を導入しました。
IVES　Proは、患者さん自身の「動かそう」とする意思（随意運動）に反応して電気刺激を与える、随意運動介助型電気刺激機器です。脳卒中などによる麻痺で思うように動かせなくなった部位に対して、ご本人の力と機器のサポートを組み合わせながら、運動機能の回復を促すことができます。
体を動かす感覚を取り戻すためのリハビリとして、多くの医療機関で活用されている機器です。当院でも、理学療法士・作業療法士が中心となり、お一人おひとりの状態に合わせて活用しています。
ご興味やご質問がございましたら、リハビリスタッフまでお気軽にお声掛けください。

リハビリテーション科　作業療法士　大竹

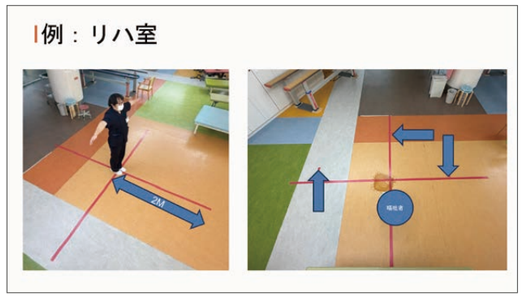
医療安全研修会

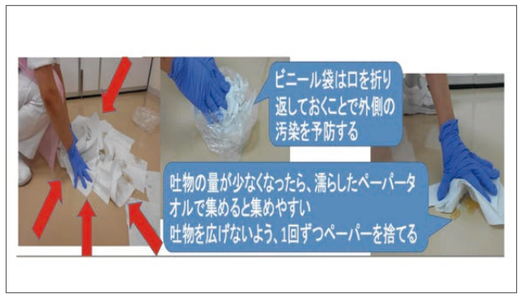


2026年5月25日（月）、全職員対象に「急変時対応」をテーマにした医療安全研修を実施しました。
万が一の場面でも迅速に対応できるように、職員一人一人が知識と技術の向上に努めています。今後も患者さんに信頼される医療の提供に向けて継続して研修・教育活動を行っていきます。

3階病棟　看護師　佐々木

感染研修会





2026年7月10日（金）から7月16日（木）にかけて行った感染対策の研修会では、嘔吐のあった際、感染の危険が最小限になるように、院内の手順に沿って対応できるよう、職種問わず全職員を対象に実施しました。
今回の研修会の学びを活かして、感染防止に向けて日々努めていきたいと思います。

2階病棟　看護師　藤井



地域向け健康教室

無理なく続ける腰痛予防





「無理なく続ける腰痛予防」をテーマに地域健康教室を開催しました。大変多くの方にご参加いただき、日常生活での身体の使い方や今後も簡単に継続できる運動の大切さについてお伝えしました。日常生活に直結する内容などもあり、皆さま興味を持って聞いてくださいました。今後も地域の皆さまの健康づくりに役立つ情報発信を続けてまいります。

リハビリテーション科　理学療法士　池田

院内向け健康教室

お口の中から健康を目指そう！！





2026年6月17日（水）に「お口の中から健康を目指そう！！」をテーマに院内健康教室を開催しました。
お口の中のケアの重要性を知ってもらい患者さんの食の楽しみを続けていただき、退院後の「生活の質」「人が生きる上で感じる日常生活の充実度や満足度」を高めていただけたらと思います。

6階病棟　看護師　野中

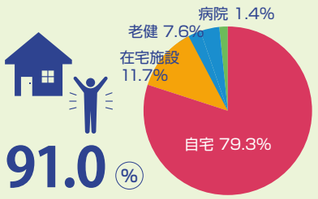
実績DATA

令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

新規入院患者数

1,367名

在宅復帰率



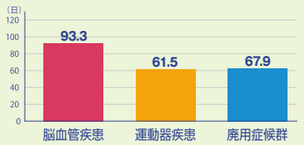
91.0%

病床利用率

98.4%

疾患別 平均在院日数

平均 74.4日



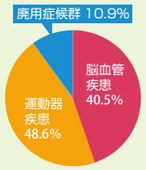
当院へ入院までの日数

新規のみ

発症日からの日数 30.8日

紹介からの日数 14.9日

疾患別内訳



脳血管疾患 40.5%

運動器疾患 48.6%

廃用症候群 10.9%

アウトカム

≪実績指数≫

リハビリテーションの質の評価

合計 54.2

（基準：40以上）

≪ADL(日常生活動作)の改善率≫

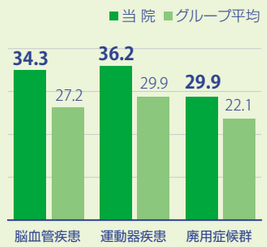
食事 経管栄養から経口摂取へ 23.9%

排泄 オムツ離脱率 64.6%

≪FIM利得≫

（退院時FIM－入院時FIM）

機能的に自立度を図る評価法。
点数が高いほど日常生活の自立度が高い。



訪問リハビリテーション新規登録者数

137名

1日あたりのリハビリテーション単位数（最大9単位）

8.1単位

※1単位=20分

行事食

令和8年7月7日

七夕メニュー

お品書き
・そうめん
・鶏肉と夏野菜の梅煮
・七夕ゼリー



常食



超軟菜食



ペースト食

患者さんの声

全体意見

- そうめんお上品な味でした。
- そうめんのおかわりが欲しいですね。
- 彩りが良くていい。
- 今日は七夕だからそうめんなんだね。
- 久しぶりのそうめんです。
- 梅味が効いていて美味しかった。
- この煮物は梅味なの？気づかなかったよ。
- 梅味さっぱりしていていいね。
- ゼリー綺麗で美味しかったです。
- デザート優しい甘さでした。
- 2～3個はお代わりできるね。
- 七夕のカードかわいいですね。

超軟菜食の方

- 私はお粥で食べられないと思っていたから皆と同じで嬉しい。
- 素麺に餡がかかっていて食べやすい。



栄養科より

七夕にそうめんを食べる由来…古代中国で熱病が流行した際に、7月7日に索餅（小麦粉料理）を供えて祀り一年間の無病息災を願う風習が日本に伝わりそうめんを食べる風習へ変化したそうです。

今回、普段は麺を提供していない患者さんにも召し上がって頂けるよう献立の工夫を行いそうめんを提供しました。暑い日が続いているため、夏ならではのそうめんで少しでも涼しさを味わっていただけたかと思います。今後も患者さんに季節感を感じていただけるような食事の提供に努めてまいります。

江東リハビリテーション病院栄養科　スタッフ一同



学校法人巨樹の会
令和健康科学大学
REIWA HEALTH SCIENCES UNIVERSITY

〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目1番12号
TEL 092-607-6701（代表） FAX 092-607-6740
HP：https://www.rhs-u.ac.jp/

むすび プロジェクト

飛がんとう！ むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者さんが、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

第6回 むすびプロジェクト研修会

脳卒中を経験して気づいた“退院”がゴールじゃなかったこと

第6回むすびプロジェクト研修会が令和8年2月27日に開催されました。当日は関東カマチグループのスタッフ957名が参加し、NPO法人列島会クリエイティブハウスの境正彦様（B型目標工賃達成指導員）と老川大輔様（作業療法士/サービス管理責任者）による貴重なご講演が行われました。境様のご講演では、退院後の復職や運転再開に向けた取り組み、さらにはゴルフや登山といった趣味・余暇活動への飽くなき挑戦が語られました。重度な麻痺と高次脳機能障害をかかえながら、高い目標を持って、生活されている姿に驚かされるとともに「退院はゴールではなく、その先にある人生こそが本番である」という視点を持つ大切さを改めて痛感しました。老川様からは障害という「弱み」ではなく、その人が持つ「強み」に着目し、それを活かしていく支援の考え方が紹介されました。たとえ失敗のリスクがあっても、まずは経験してもらい、本人に感じてもらうことを優先する支援や姿勢には多くのスタッフが感銘を受けました。

当事者の「生の声」を聞く機会が少ないスタッフにとって、今回の研修は非常に貴重な時間となりました。今回の学びを日々の業務に還元するとともに、今後もこのような有意義な研修会を継続していきます。


▲ 列島会 境様（左）/ 老川様（右）


▲ 開催風景

ACCESS MAP



交通のご案内
西大島駅（都営新宿線）徒歩8分
都営バス 大島1丁目・北砂3丁目から徒歩3分



社会医療法人社団 東京巨樹の会
江東リハビリテーション病院

TEL 03-6880-1555

〒136-0073
東京都江東区北砂2丁目15-15
FAX 03-6880-1556

リハビリテーション科
公式HP・各種SNS
▲ リハ科HP ▲ TikTok ▲ Instagram